

～SOCIAL WOOD PROJECT～駅から始める未来の森づくりと連動した
「駅で育つ苗木をめぐろう！木になるデジタルスタンプラリー」を6月22日(日)から開催します！

東急電鉄株式会社

当社は、2025年6月22日(日)から8月31日(日)まで「駅で育つ苗木をめぐろう！木になるデジタルスタンプラリー」(以下、本スタンプラリー)を開催します。

本スタンプラリーは、「SOCIAL WOOD PROJECT」の一環として行っている「駅から始める未来の森づくり」(以下、本取り組み)において、どんぐりから苗木を育てている池上線4駅(五反田・旗の台・千鳥町・蒲田)をめぐって「東急線キャラクター のるるん」デジタルスタンプ(NFT)を集めることで、本取り組みを知っていただくとともに森林課題解決への取り組みに気軽に触れていただくことを目的に行うものです。

4駅のデジタルスタンプ(NFT)を全て受け取り、さらにアンケートにご回答いただいた方にはコンプリート景品として限定デジタルメダル(NFT)をプレゼントします。

また、本スタンプラリーの開催を記念し、6月22日(日)に多摩川駅で開催する「いけたまハッピートレイン」1周年イベント「車内でお楽しみ会をひらこう」*で、当日限定デザインのデジタルスタンプ(NFT)を配布します。

ぜひこの機会に、「SOCIAL WOOD PROJECT」および本取り組みにご注目ください。

*「いけたまハッピートレイン」1周年イベント「車内でお楽しみ会をひらこう」はこちらからご覧ください。

URL: <https://www.tokyu.co.jp/company/information/detail/58156.html>

詳細は別紙をご覧ください。



<ポスタービジュアル>



<駅で育てている苗木>

当社は、2024年度を始期とする中期事業戦略において、戦略の柱として、「鉄道による環境・社会課題の解決」に取り組むことを掲げました。鉄道事業を通じて脱炭素・循環型社会の実現への責務を果たすとともに、事業特性を活用した新たな価値創造・貢献などにより、環境・社会課題の解決を目指していきます。

【別紙】

1. 「駅で育つ苗木をめぐろう！ 木になるデジタルスタンプラリー」概要

(1)開催期間 2025年6月22日(日)～2025年8月31日(日)

(2)参加費 無料

※交通費や通信費はお客さまのご負担となります。

(3)配布箇所 池上線五反田駅 旗の台駅 千鳥町駅 蒲田駅(計4箇所)

(4)配布スタンプ 「どんぐりの苗木をめぐる 木になるスタンプラリー」仕様のデジタルスタンプ(NFT)を駅ごとに配布します(全4種類)。さらに、デジタルスタンプ全4種類をすべて受け取った方で、公式LINEアカウントのメッセージ配信を通じアンケートに回答した方には、コンプリート景品「限定デジタルメダル(NFT)」をプレゼントします。

また、本スタンプラリーの開催を記念し、6月22日(日)に開催する「いけたまハッピートレイン」1周年イベント「車内でお楽しみ会をひらこう」で、当日限定デザインのデジタルスタンプ(NFT)を配布します。

※「いけたまハッピートレイン」1周年イベント「車内でお楽しみ会をひらこう」はこちらをご覧ください。

URL: <https://www.tokyu.co.jp/company/information/detail/58156.html>

(5)取得方法 デジタルスタンプ(NFT)の配布を行う駅に掲出するイベントポスター記載の受取用QRコード※を読み取ることで、LINE公式アカウント「TOKYU RAILWAYS NFT」の「友だち追加」ならびにデジタルスタンプの受け取りが可能です。

※詳しくはイベントページをご覧ください。

URL: <https://www.sushitop.io/6web3layer/tokyrailway/swp/index.html>

※LINE公式アカウントの「友だち追加」は以下からも可能です。

LINE公式アカウントURL: <https://lin.ee/jf2K0tV>



▲LINE公式アカウントQRコード※



▲配布するデジタルスタンプ(イメージ)



▲6月22日限定デジタルスタンプ(イメージ)

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標・JIS、ISO規格です。

2. 「駅からはじめる未来の森づくり」概要

「SOCIAL WOOD PROJECT」の一環として、苗木を育てることで森林資源の循環を促進するため、ソマノベースが手掛ける「戻り苗」の仕組みを活用して池上線の4駅で育苗を実施しています。駅で育てる苗木は、約2年後に、東京都多摩地区の森に植林します。森林が健全な状態を保持し、多様な動植物の生息地確保や災害抑制などの機能を発揮するためには、「伐って、使って、植えて、育てる」循環利用のサイクルが必要です。

当社はソマノベースと連携した本取り組みを通じて、さまざまな森林課題へアプローチするとともに、東急線沿線の方々に苗木の成長を通じて“木にいいこと”を知って、応援していただける機会を創出します。苗木の育成は、各駅の駅係員をはじめとする当社従業員、および本年3月に着手した千鳥町駅「木になるリニューアル」工事の関係者が行っています。

(1)設置期間 : 2025年3月18日(火)～約2年間(予定)

(2)設置箇所 : 池上線五反田駅、旗の台駅、千鳥町駅、蒲田駅

(3)設置本数 : 五反田駅、旗の台駅、千鳥町駅…24本 蒲田駅…20本 計92本

(4)樹種 : カシ類

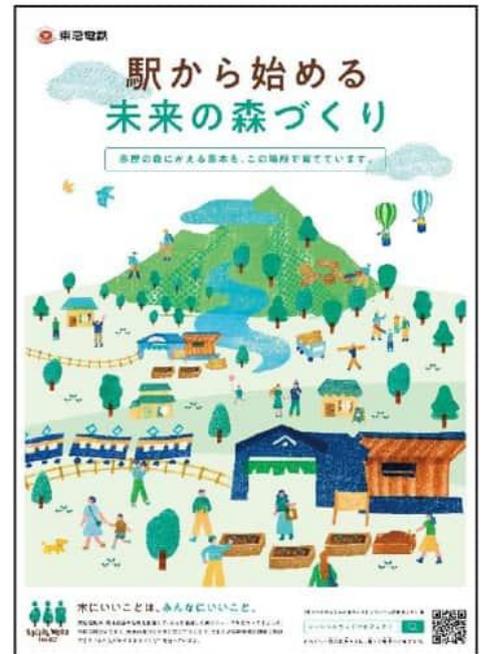
駅からはじめる未来の森づくり 紹介サイトURL: https://ii.tokyu.co.jp/withheart/news/swp_ikubyo



<駅で育てる苗木（イメージ）>



<駅係員によるどんぐり植え付け会実施の様子>



<駅に設置するポスター>

【参考】

■「SOCIAL WOOD PROJECT」概要

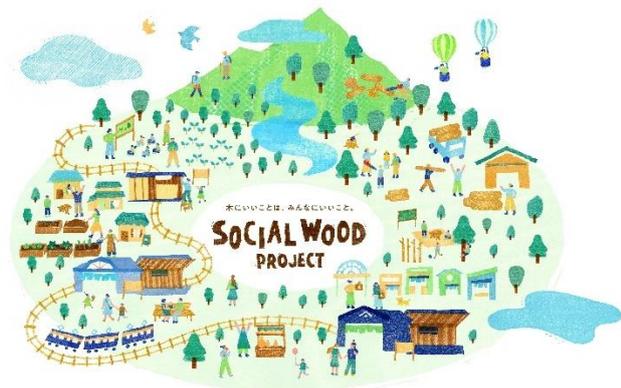
SOCIAL WOOD PROJECTは東急線沿線でさまざまな“木にいいこと”を知って・参加して・応援する機会が得られ、なにげない行動からだれもがこれまで以上に森林資源の循環に貢献できる“木と人がめぐるまちづくり”を目指すプロジェクトです。

SOCIAL WOOD PROJECTの取り組みは①木材活用②地方創生③CSV(共創価値創造)の社会実装④コミュニティ醸成の4軸において展開し、当社だけでなくLINEヤフー株式会社、古材日和グループ、株式会社ソマベースをはじめとする共創パートナーや沿線にお住まいの方々と連携し、推進しております。

SOCIAL WOOD PROJECTプロジェクトサイトURL: https://ii.tokyu.co.jp/withheart/socialwood_project



▲SOCIAL WOOD PROJECTロゴ



▲SOCIAL WOOD PROJECT ビジョンマップ

■「木になるリニューアル」とは

当社はこれまで、駅舎開業から長きにわたり親しまれた駅施設において、「木になるリニューアル」として東京都多摩地区で生育・生産される木材「多摩産材」を用いたホーム屋根の建替えや、駅舎内外装などの改修を実施してきました。これまでに池上線戸越銀座駅、旗の台駅、長原駅において「木になるリニューアル」を実施しており、本年3月から4駅目となる千鳥町駅の工事に着手しております。環境配慮の観点では、木材をふんだんに使用することで、鉄骨造に比べて建設時のCO2放出量の抑制、炭素の固定化に寄与しています。また、千鳥町駅では「多摩産材」に加えて「あきた材」も取り入れるなど、今後は“地産地消”はもちろん、地方の木材を都市で活用する“地産都消”という考え方のもと、地方産材の利用にも取り組んでいきます。



・池上線戸越銀座駅(2016年度竣工)



・池上線旗の台駅(2019年度竣工)



・池上線長原駅(2021年度竣工)

(写真: 株式会社エスエス)

・池上線千鳥町駅(2025年3月26日から実施中！)

駅舎開業から約100年を経過した千鳥町駅において、ホーム屋根の建替え・延伸、駅舎内外装リニューアル、トイレの更新などによって安全性・快適性や環境性能の向上を図るとともに、木材を活用したリニューアルにより親しみやすく温かみを感じられる駅づくりを推進していきます。



▲五反田方面ホーム屋根 イメージパース

■「TOKYU RAILWAYS NFT」概要

NFTを活用して、お客さまとの新たな繋がりを生み出し、今までにないデジタルならではの楽しみ方を企画、提案することを目指しているプロジェクトです。

詳細は特設サイトをご覧ください。

TOKYU RAILWAYS NFT URL: <https://tokyurailways.sushitopmarketing.com/>